



～ 自他共栄～ NO.27

2026年3月4日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

2026JR総連春闘 第2回交渉～組合要求の根拠～

中央本部は2026年3月4日に「26春闘第2回交渉」を行ないました。

組合要求の根拠

- ・25春闘においてJR貨物のベースアップ一律2,000円、定期昇給合わせても平均2.39%で世の中の平均賃上げ率は5.52%である。
- ・昨一年の物価上昇率は3%以上であり、実質賃金は低下し続けている。生活にゆとりがなければ、仕事に対するモチベーションは上がらない！
- ・離職率は2%を超える高水準で推移しており、要員不足や技術継承などの問題が年々深刻化している。要員不足を改善し選ばれる企業にするために、ベースアップは必須である！
- ・生活実態では昼食を節約している青年部員が多い。ゆとりある生活が出来るようにするためにも満額回答が必須である！

会社の回答

- ・JR貨物会社の所定内平均賃金は328,368円(Po、Ex、PI混合)であり決して低いとは考えていない。
- ・要員不足であり採用していかなければならないことは承知している。メンター制度やフォロー研修、初任給調整手当で1～3年目の離職は減少、4～5年目は横ばいとなった。6～14年目は微増となった。
- ・貴組合の主張は経営陣に伝えていく。

会社は、「基本給に関わる重要な交渉であり、次回会社として考えを示したい」と回答しました。

今日から闘争ゾーンに入ります。本部青年部は全国の青年部員の声をしっかり届け、青年部員全体で闘いをつくり出し、本部交渉団と共に最後まで闘います！

**満額回答を勝ち取るべく
青年部組織の一致団結を持って最後まで闘い抜こう！**